

# 研推だよりNo.16



令和4年  
9月28日  
研究推進部会

## 福樹先生、すずかけの先生方、研究への話題提案授業ありがとうございました！

先週の水曜日に、今年度3回目の話題提案授業としてすずかけ分科会から福樹先生が授業をしてくださいました。ヨシタケシンスケさんの絵本を題材にして、総合的な学習の時間で自分の好きなものや自分の長所、そしてひいては「自分らしさ」を子供たちが考えていく学習でした。本時の中では、すずかけの子供たち一人一人がとても生き生きと自分の分身である自作ロボットを用いて映像を作成していました。先生方がたくさんいるので幾分か緊張している様子も見られましたが、ペアで活動する中で次第に緊張もほぐれ、「こうするともっとよくなるんじゃない?」「いい感じで撮れたね!」と言葉かけをしあう様子が見られましたね! 宿泊学習の準備などでお忙しい中でも、授業に向けて分科会一丸で準備を進めていただいて、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。すずかけ分科会の先生方、そして福樹先生本当にありがとうございました!



協議会でも話題の中心に上がっていた「自分らしさ」については、キャリア教育の観点からも通常級でも子供たちと一緒に考えていく価値のあるテーマだなと感じました。次号の研推便りでは、この「自分らしさ」をICTの技術で見つけていく取組の可能性について書いていますので、拙文ではありますがよかったですらお読みください!

### 1 第3回話題提案授業 協議および指導講評記録（記録：中学年分科会）

成果	質問	改善案
<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が楽しそうに活動していた。</li><li>・タブレットを使うと何回もやり直せる安心感があってよかった。</li><li>・自分のロボットに語らせる手法が表現のしやすさにつながっていた。(愛着もある)</li><li>・分身(ロボット)を使うことで、自然と感情移入することができている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・教員の提示したモデルは、どのようにしたのか? →モデルは、作成していない。</li><li>・機器を机の上に置いた方がよかったのでは。(安全上、マイクの音など考慮して)</li><li>・クイズ形式にした意図は? →児童からのアイデア。</li><li>・この授業の評価とねらいは。 →特別支援学校の指導計画を基に作成している。特別支援学級は児童一人一人によって評価とねらいが違いますが、おおまかなねらいは自分らしさを見つけることである。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ワークシートで自分を掘り下げていたが、それが動画であまり反映されてない。ワークシートが難しいのでは? →児童たちが好きな本で、自分も好きなので、難しいかと思ったが、取り入れた。</li><li>・導入の注意点は子供から出た気付きも触れてみたい。導入の段階でルールを確認したのは良かったが、子供たちの中には良いアイデアをもってる子もいたので、教師は手を差し伸べる程度でもよかった。</li><li>→導入で確認したルールも児童たちから出たものである。</li><li>・動画をよりよいものにするとうことがねらいなら、児童たちがくふうしたところを教師が取り上げてもよかった。</li></ul>

**指導・講評（講師：東京女子体育大学 准教授 石出 勉先生）**

<p>&lt;情報モラル&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・情報活用能力</li><li>・著作権の取り扱いについて</li></ul> <p>→インターネット上の情報は管理者が誰もいない。情報は正確か見極める必要がある。各学校においては、情報活用能力・問題開発・問題解決能力等の資質・能力を育てる。大人との約束をもとに使用していく。</p>	<p>&lt;情報モラル（基礎編）&gt;</p> <p>タブレット端末を日常に使うことを前提とする。</p> <p>文房具のように気軽に使える状態にする。</p>
<p>&lt;著作権法&gt;</p> <p>対面授業の中では教師が使用するのであればよい。</p> <p>ワークシートなどに使って配布してはいけない。</p> <p>公共衛星で使用する場合は一人80円×児童数で使うことができる。</p> <p>→学校でのICT教育活用サイト等で、ICTの授業実践を無料で公開しているので参考まで。</p>	<p>&lt;ロボットを使って自分を表現する授業&gt;</p> <p>インターネットでいうアバター。仮想空間でのメタバースが今話題。</p> <p>インターネット上に学校を作り、学び、議論する。</p> <p>中国を始め海外では取り入れられている。日本も10年後にはそうなるかもしれない。そうなった時に、学校現場では対面でどんな授業をするのか。考えていく必要がある。</p>

